

# 古江ふるえがおか



古江小 HP QR コード



令和7年12月22日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

## 2025年もまもなく終わりです。どんな1年でしたか？

2025年もまもなく終わろうとしています。保護者の皆様、地域の皆様にとって、どんな1年だったのでしょうか。古江小学校としては、多くの方のサポートをいただきながら、こどもたちが生き生きと学習に取り組むことができ、改めて感謝申し上げます。

今年度より通知票が2期制になったので、終業式に渡すことはありませんが、各家庭でどんな2学期だったのかをお子さんと振り返っていただくと幸いです。

25日の終業式にはNHK松江放送局が取材に来られる予定です。画面を通して見えるこどもたちの表情がどんな様子なのか楽しみにしてください。今年も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

### 6年：「平和を伝える会」

11月28日（木）、6年生が総合的な学習の時間に取り組んできた平和学習の総括として、古江公民館に出向き、寿学級の皆様をはじめ、地域の皆様や保護者の皆様に対して、「平和を伝える会」を実施しました。自分たちが1学期から取り組んできた平和学習を通して、それぞれのグループがテーマを設定し、インターネットや聞き取りなどによって調べ、それを通じて感じたことを、地域の大人の方に発信するという今年度初めての試みでした。

誰かに伝えることは、自らの学びの振り返りとなり、深い学びにつながります。今回とってもよかったですのは、全ての発表を終えた後、自由に感想交流をする時間があったことです。地域の方も全体の中では言いにくかったことも気軽に笑顔で話してくださっていたのが印象的で、とってもすてきな交流の時間になりました。



### インフルエンザの猛威

12月第2週の週末あたりから、少しずつ欠席報告が増え始め、週明けどうなるのか危惧していたところ、15日には全校で53名の欠席者となり、その内32名がインフルエンザ感染者でした。その日に、2-1, 2-2, 3-1の3学級を17日まで学級閉鎖とする措置をとり、17日には新たに4-2と感染者が拡大した3-1を19日まで学級閉鎖という措置をとりました。早めの下校においては、低学年は保護者引き渡しで、4年生は家庭の実態に応じた下校とさせていただきました。保護者の皆様には速やかにご対応いただき、こどもたちを安全に帰すことができたことに感謝申し上げます。児童クラブにも、スタッフを確保していただき、通常より1時間以上も早く受け入れをしてもらいとても助かりました。

## 第2回学校運営協議会報告

11月21日に第2回学校運営協議会を開催しました。最初に委員の皆様にこどもたちの授業の様子を観ていただき、感想をいただくと共に学校経営に関するご意見をいただきました。

### ○こどもたちの様子について

- ・4年：スーパーへレンさん講座、6年：千羽鶴の活動、絵画コンクールの入賞など、校外でのこどもたちの活動や活躍をたくさん感じた。
- ・こどもたちが自ら学ぼうとする授業構成が多かった。
- ・こどもたちの意見を担任がしっかり受け止めて、ほめているのが印象的だった。
- ・授業中の姿勢の崩れや教員に対する言葉遣いなどが気になるこどもが一部いた。
- ・少人数での授業はとても効果的であるように感じた。

### ○ご意見

- ・学校評価中間報告について、昨年度の数値を10%以上上回る項目が多いのはとてもいいこと。但し、肯定的な回答でも「とてもそう思う」と「そう思う」の合計したものであり、それぞれの比率が異なることもあるので、細かく分析することも大切である。
- ・サポートスタッフが充実しているように感じた。来年度もこの体制を維持してもらうよう市教委に働きかけてほしい。すまいる教室への配置ができるとよい。
- ・不登校傾向の児童に対して、その子の興味や関心のあることから、様々な機会を捉えて広げていくことが大切であり、学校外の学びの場を活用していくことも大切である。
- ・バス待ちのこどもの態度がよくない。
- ・教員の働き方改革の取組については、これまで通り地域でできることは協力していくので言ってほしい。

こどもたちや学校のためにお力添えをいただいていることに改めて感謝申し上げ、引き続きご示唆とご支援をお願いさせていただきました。

たくさんの地域ボランティアの方に来ていただいて、今年も12月9日・10日に、校内書初め会を行うことができました。ボランティアの方が書いてくださるお手本を食い入るように見てポイントを確認していました。特に3年生は、初めての毛筆での書初めと言うこともあり、筆や墨池の使い方や姿勢や書く位置などひとつひとつ確認していました。

条幅紙の前に移動すると、すぐに書き始める子、空書きを何度も繰り返す子、筆をよく揉んで備える子など、それぞれの性格がよく現れていました。

書き上げた作品は甲乙つけがたく、こどもたちは、どれを自分の一番にするのか悩むくらいいい字が書けたようです。冬休みに各家庭でも作品作りに挑んでくれることを期待しています。この機会に保護者の皆様も一緒に取り組んでみられてはいかがですか？

